



一中だより

3月号
令和7年3月3日
小平市立小平第一中学校

■公立中学校に未来はあるか

校長 栗林 昭彦

近年、私立中学校を受験する小学6年生の数は増加の傾向が見られます。首都圏の平均でおよそ20%、23区の一部地域ではすでに過半数が受験をするところもあります。小平市では10%台半ばだということですが、学校によってはここ数年受験者が目に見えて増加しているところもあるようです。

中学受験については、それぞれのご家庭のお考えですので、私たち公立中学校が意見をいえるものではありません。ただ、「進学先として選んでもらえない」ことが増えているとしたら、安穩としてはいられないし、もっと危機感をもっていなといけなと、ここ数年考えています。

改めて、公立、私立の中学校それぞれにはどんなアドバンテージがあるのでしょうか。

公立中学校は、相対的には安価で済みますし、通学も楽です。何より受験勉強の必要がありませんから進学塾に通う必要もなく、小学校時代の過ごし方もゆとりのあるものになるでしょう。

一方私立の場合は、様々な選択肢の中から校風や教育課程、進学実績などの材料を見ながら、自ら選ぶことができるのがアドバンテージです。また、入試を経て入ってきた生徒たちが集まるので、授業のレベルもターゲットを絞って設定することができます。

かつて学校が荒れていた時代、「地元の学校だけには行かせたくない」と私立の学校を受験する人たちがいました。しかし現在では、多くの学校で生徒たちは落ち着いた学校生活を送ることができています。その中でも私立受験が増加していることの原因を考えないといけません。

実は大きな違いは、経営に当たる者の意識にあるのではないかと思います。学校法人が経営する私立学校は、万が一生徒が集まらなければ経営が立ち行かなくなりますから、生徒の募集については極めて真剣です。学校の魅力を高め、それを知ってもらったうえで選んでもらわないといけませんから、常に改善を目指し、それを発信していこうという真剣さがあります。一方、私たち公立学校は募集をしなくても自動的に生徒が入学してきます。自戒を込めて言えば、私たちには「選んでもらうための真剣さ」が、これまで不足していたのではないかと思います。

現在、高校の無償化が話題になっています。東京都では私立高進学者の家庭にもすでに一定程度の補助がありますし、さらに拡充されるかもしれません。公立のアドバンテージは今後小さくなっていくかもしれません。私は多様な生徒が学ぶ公立学校で過ごし、成長していくことこそが長い人生を考えれば大きな魅力だと考えていますが、それだけでは当然いけないとも思います。

私たち公立中学校も、私立校と同様、よりいっそう魅力ある学校づくりに努め、それを発信していくことが必要です。そのうえで私立と比べても「選んでもらえる」ような学校でありたい。年度の終わりにあたり、そんな思いを強くしています。

	公立	私立
経費	相対的に安価	相対的に高価
通学	ほぼ徒歩圏	学校にもよるが遠くなる
中学進学	自動的に進学	入試を通過しないといけない
高校進学	受験が必要	付属校では入試の必要なし
生徒層	幅広い	ある程度均質化
校風	選べない	校風を選択の基準にできる
教育課程	学習指導要領に従い編成	ある程度弾力的に編成



■研究発表会 ご協力ありがとうございました

2月13日に開催した本校の研究発表会には、小学校、中学校、高等学校の先生方もはじめ、保護者の皆さん、地域の皆さんもお集まりいただき、無事開催することができました。ご協力いただいた皆様に心よりお礼を申します。参加して下さった皆さんからも、自分で課題を立ててそれを解決していこうとする生徒たちの様子について、お褒めの言葉を数多くいただきました。予測困難なこれからの時代に生きる生徒たちに、多少なりとも必要な力を身に付けさせてやることができたものと思っています。当日のパネルディスカッションご協力いた

だいた皆様をはじめ、本研究に御指導、ご協力いただいた皆様に、改めてお礼を申します。

■3月の主な予定

日	曜	学校行事等	I組	給食			
				1	2	3	4
1	土						
2	日						
3	月	全校朝会 都立一般発表 保護者会 (I組)	保護者会	○	○	×	○
4	火	保護者会(1)		○	○	○	○
5	水※	保護者会(2)		○	○	○	○
6	木	専門・中央委員会 都立後期・二次出願 デートDV防止講座(3)		○	○	○	○
7	金	都立後期・二次取下げ		○	○	○	○
8	土						
9	日						
10	月	都立後期・二次再提出		○	○	○	○
11	火	都立後期・二次試験		○	○	○	○
12	水			○	○	○	○
13	木	卒業式予行 職員会議		○	○	○	○
14	金	都立後期・二次発表 給食終(3)		○	○	○	○
15	土						
16	日						
17	月			○	○	×	○
18	火	卒業式準備		○	○	×	○
19	水	卒業式		×	×	×	×
20	木	春分の日					

21	金	給食終(1,2) 職員会議		○	○	○
22	土					
23	日					
24	月	クリスマス		×	×	×
25	火	修了式 離任式		×	×	×
26	水	春季休業日始				
27	木	吹奏楽部定期演奏会				
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					
4月の予定	7(月)始業式 8(火)入学式					
	9(水)全校朝会 職員会議 10(木)給食始					
	11(金)小平市合同研修会 眼科検診					
	14(月)保護者会(2)					
	15(火)保護者会(1) 部活動保護者説明会					
	16(水)保護者会(3、I組)					
	17(木)全国学力学習状況調査(3) 耳鼻科検診					
	18(金)専門・中央委員会 21(月)避難訓練					
	22(火)内科検診(1A～D)					
	23(水)歯科検診 中学校教科等研究会					
	28(月)職員会議					
	30(水)避難訓練 一斉引き渡し訓練					
※新年度予定は変更となる場合もあります						

※印は放課後学習教室の開催予定日です。